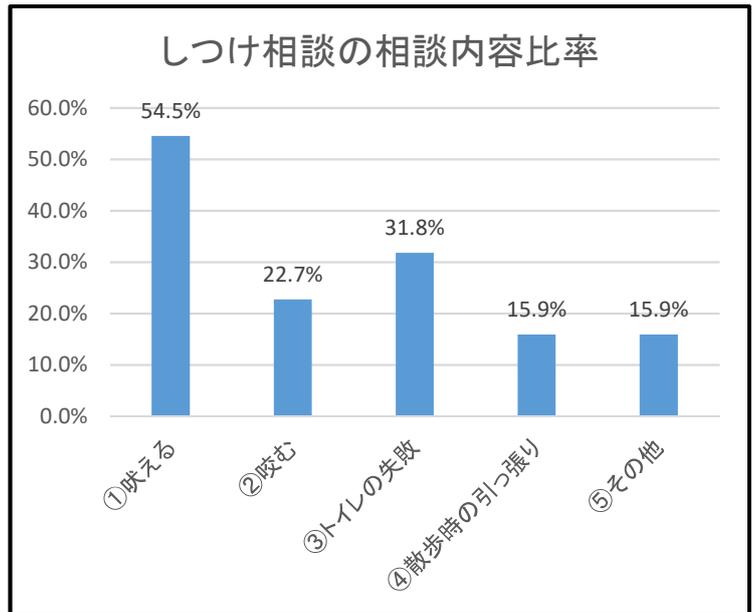


1.しつけ相談

相談数:44件(11/25 16件、11/26 28件)

相談内容	相談件数	比率
①吠える	24	54.5%
②咬む	10	22.7%
③トイレの失敗	14	31.8%
④散歩時の引っ張り	7	15.9%
⑤その他	7	15.9%



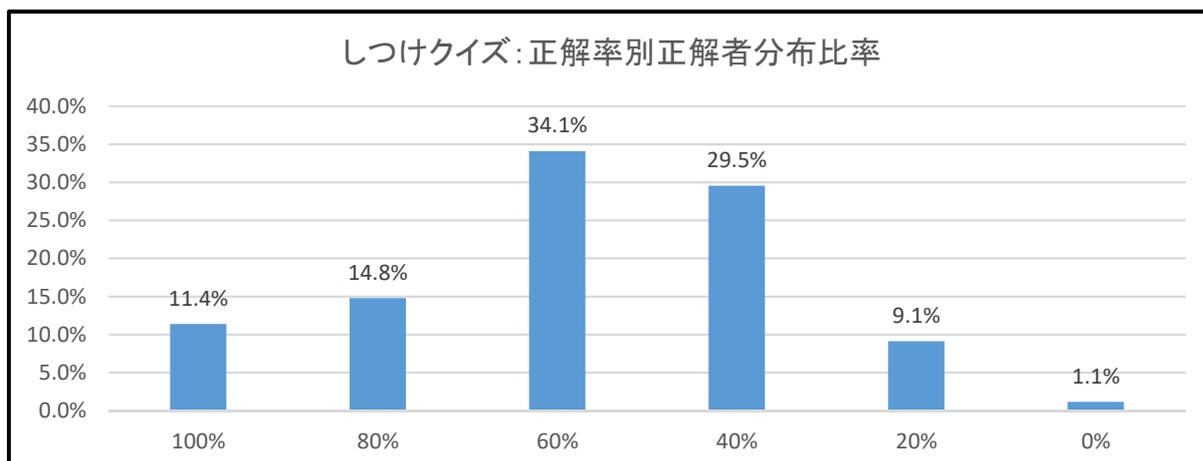
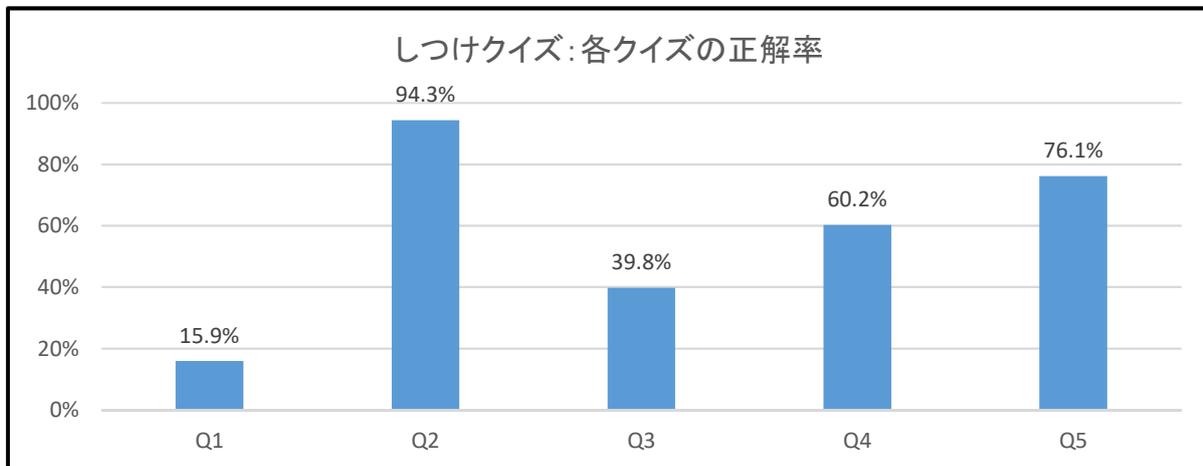
⑤その他相談内容

- ・ハミガキ2件
- ・夜中に動き回る(16才老犬)
- ・マテが出来ない
- ・分離不安
- ・興奮する
- ・人・犬に慣れていない(保護犬)

2.クイズ&アンケート

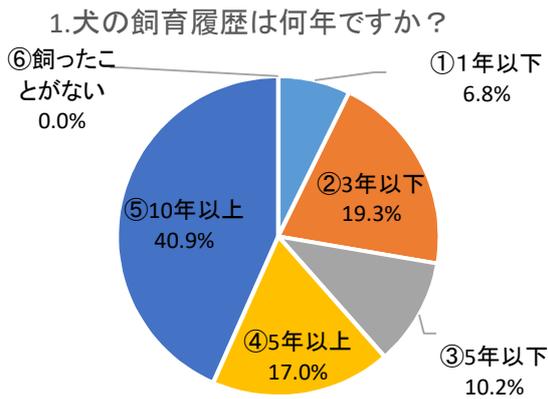
(1)クイズ集計:回答者88人

クイズの内容	正解	正解数	正解率
Q1犬をしつけるには、飼い主が上位に立たなければならない	×	14	15.9%
Q2犬をしつける時は、褒めてご褒美をあげる方が効率が良い	○	83	94.3%
Q3ご飯を食べる時は、犬より先に人が食べなければならない	×	35	39.8%
Q4引っ張りっこで犬と遊ぶときは、負けてはいけない	×	53	60.2%
Q5犬を叱るときは、マズルを持ってダメといって叱る	×	67	76.1%

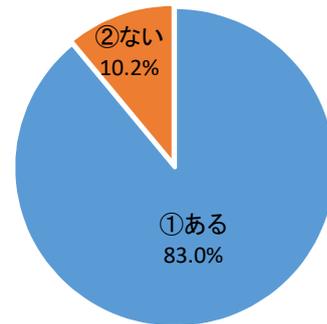


(2)アンケート集計

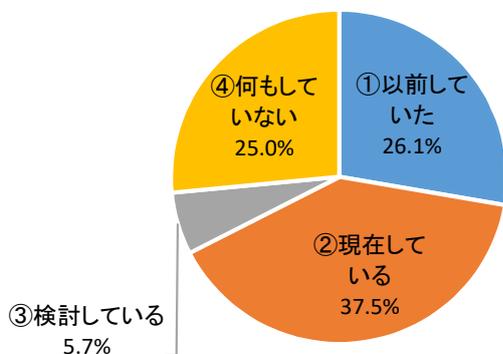
設問	回答	人数	比率
1.犬の飼育歴は何年ですか？	①1年以下	6	6.8%
	②3年以下	17	19.3%
	③5年以下	9	10.2%
	④5年以上	15	17.0%
	⑤10年以上	36	40.9%
	⑥飼ったことがない	0	0.0%
2.犬のしつけやトレーニングについて興味がありますか？	①ある	73	83.0%
	②ない	9	10.2%
3.犬のしつけやトレーニングを行っていますか？	①以前していた	23	26.1%
	②現在している	33	37.5%
	③検討している	5	5.7%
	④何もしていない	22	25.0%
4.犬を飼っていて、困ったことはありますか？(複数回答可)	①吠える	34	38.6%
	②咬む	8	9.1%
	③トイレの失敗	17	19.3%
	④散歩で引っ張る	15	17.0%
	⑤その他	9	10.2%
	⑥特にない	19	21.6%



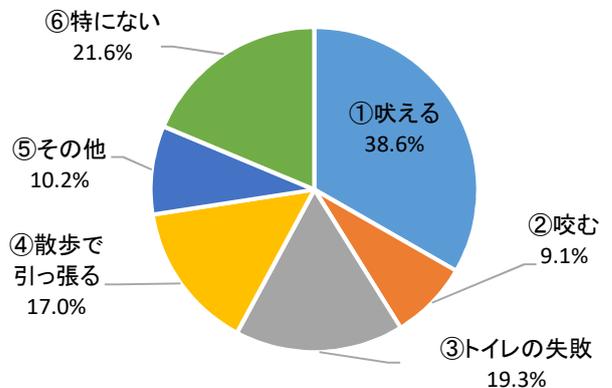
2.犬のしつけやトレーニングに興味がありますか？

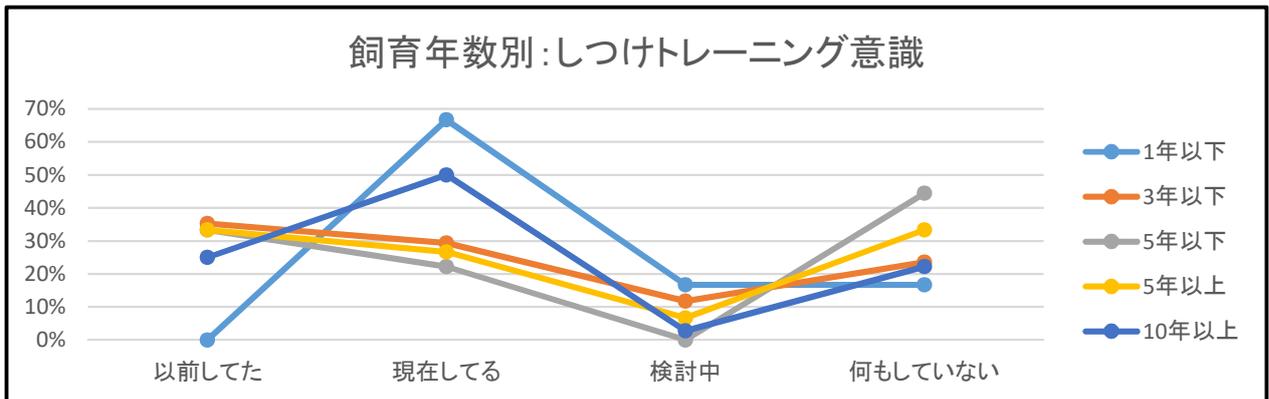
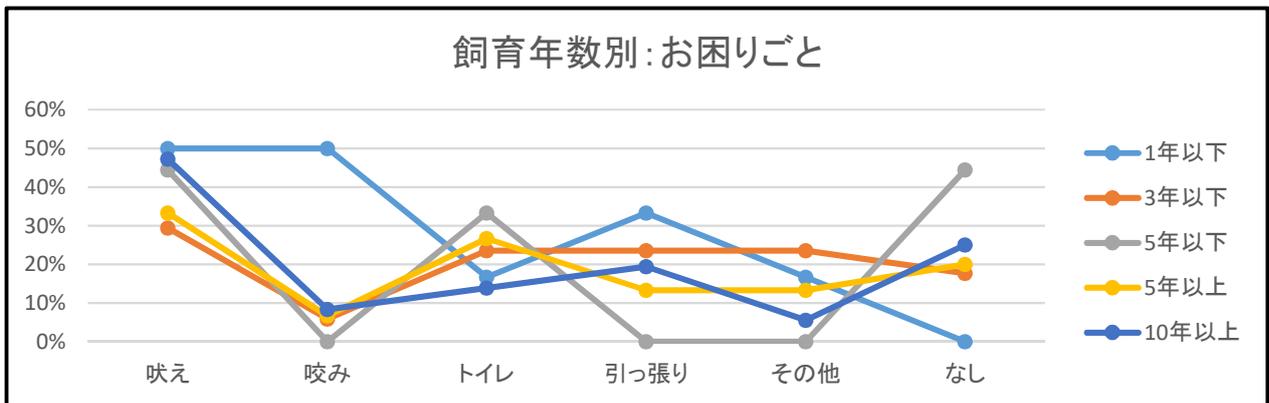


3.犬のしつけやトレーニングを行っていますか？



4.犬を飼っていて、困ったことはありますか？(複数回答可)





3.考察

(1)しつけ相談の結果

しつけ相談で最も多かった相談内容は吠えの問題(54.5%)である。

これは、犬の吠え声が飼い主のみならず、近隣などへの迷惑を気にすることから困ったこととして1位になっていると思われる。

相談内容の順位

- 1.吠える:54.5%
- 2.トイレの失敗:31.8%
- 3.咬む:22.7%
- 4.散歩の引っ張り、その他:15.9%

この結果は、クイズアンケートの困ったことと同じ順位となっている。

また、その他の内容にハミガキなどのケアの相談や老犬、保護犬に関する相談もあった。

(2)クイズ & アンケートの結果

クイズで最も正解率の高かった問題はQ2「犬をしつける時は褒めてご褒美を上げる方が効率が良い」(正解率94.3%)であった。一方で最も低かった問題はQ1「犬をしつけるには、飼い主が上位に立たなければならない」(正解率15.9%)であった。このことは、まだ犬のしつけに対してリーダー説のようなことが認識として浸透していると思われる。

クイズの全問正解者は、10人(11.4%)であった。

アンケートで困ったことの順位はしつけ相談の順位と同じになっている→1位は吠えの問題。

犬のしつけやトレーニングについて興味があると回答してるのは全体の83%になっていることから、しつけやトレーニングの必要性の認識はあると考えられる。また、しつけやトレーニングをしていた若しくは現在していると回答したのは全体の63%以上で、検討中までを含めると69%を超えており、ここからもしつけ、トレーニングの必要性の認識が伺える。

飼育年数別の困ったことでは、犬を飼い始めた人(1年以下)では吠えと咬みを上げている(共に約50%)が、それ以外の飼育年数の人は咬みの問題は10%以下である。

吠えに関しては、どの飼育年数でも困ったこととして捉えている。

しつけ、トレーニングの必要性の認識は飼育1年以下(パピー)の、飼い主が1番高く、これは初めて犬を飼うことにあたり、しっかり育てるという認識を表していると考えられる。